



ボランティア便り

川崎田園都市病院 ボランティア活動機関紙

vol.219 2025/7/16

お問合せはこちらへ

医療法人 若葉会 川崎田園都市病院

〒215-0023 川崎市麻生区片平1782

Tel: 044-988-1118 Fax: 044-988-0009

URL: <http://kawadenhp.com> E-mail: volunteer@kawadenhp.com

担当: レクリエーションワーカー 山口・町田



★当院においてくださっているボランティアの皆様の活動や患者様のご様子を紹介します！

5月24日(土) ロビーコンサート 出演: グルービー・グランパーズ(男声合唱)



先月、約5年半ぶりに再開いたしましたロビーコンサートについて、感染症対策に留意したスタイル(3病棟ずつ)でご鑑賞をお願いすることとしましたが、今回は4月とは別の病棟の2階東・4階東・4階西病棟の患者様を対象に、男声合唱のグルービー・グランパーズ(筒井博史様・西野力様・田中四郎様・中城弘道様)の方々とピアニストの米田恵子様にお越しいただきました。当院では9回目のご出演です。プログラムは『箱根八里』『高原列車は行く』『瀬戸の花嫁』『母さんの歌』『山小舎の灯』をご演奏くださり、どれも患者様にお耳馴染みの歌です。一緒に口ずさまれる方、手拍子をされる方、演奏者を見つめ聴き入られる方等、お一人お一人が楽しまれていた様子でした。4名の皆様の豊かで艶やかなハーモニーが会場を包み込み、至福のひとつとなりました。歌声だけでなく曲間にはユーモラスなMCで笑いが起きることもあり、お話でも患者様を楽しませてくださいます。アンコールでは『筑波山麓合唱団』をご披露。カエルの合唱がテーマのこの曲はメンバーの方々がそれぞれカエルに扮して身振り手振りを付けながらのコミカルな演出で盛り上げてくださいました。プログラムの最後は「皆様に歌いましょう」というコーナーで『丘を越えて』『北国の春』を男声の力強い歌声に合わせ患者様も一緒に歌われ、心潤うコンサートが締めくくられました。ある患者様にご感想を伺いますと笑顔で「楽しかった！」「良かった！」とお話してくださいました。またご家族様からも「すごかったね！」「響いてたね！」とお言葉を頂戴いたしました。患者様の充実されたご様子にスタッフ一同大変嬉しく思うと同時に、グルービー・グランパーズの皆様がコンサート終盤まで患者様に寄り合い歌ってくださったことへの感謝と音楽の力を強く感じたコンサートでした。

5月12日～内科病棟通常グループレク時間にて 5月の企画レクリエーション『皐月』



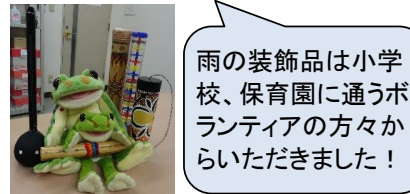
内科病棟では通常グループレク時間枠にて、季節をより深く感じていただけますよう“企画レクリエーション”を実施しています。5月のテーマは『皐月』。窓の外に広がる爽やかな新緑の木々を背景に、まずはレクワーカーによるアコーディオンの伴奏で『夏は来ぬ』『高原列車は行く』をお歌いいただきました。続いて5月1日が八十八夜だったことから、『茶摘み』の歌唱や、実際の新茶の茶葉の香りをお楽しみいただきました。「昔、手遊びをやったわね。」とお話くださる方や、爽やかな香りに笑顔をお見せくださる方もいらっしゃいました。その後は愛鳥週間(5月10日～5月16日)に合わせ、竹・木・陶器・プラスチック…多様な材質の鳥笛7種類をご紹介。実際に演奏し「何の鳥の鳴き声でしょうか？」とクイズ形式にしますと、「ウグイスね！」「これは…カッコウ？」とご回答くださる方もいらっしゃいました。カモメの鳥笛では、それまで目を閉じて過ごされていた方も音色に誘われるようにすっと目を開け音の鳴る方を見つめてくださいました。ここで地域の方にご寄贈いただいた折り紙作品“パタパタ鳥”を皆様にプレゼント！「かわいい！」「としっぽを引っ張り羽を動かすことに挑戦くださる方も。最後はアコーディオンによる『旅の夜風～かもめが翔んだ日』をご鑑賞いただき、レトロな音色からか曲にまつわる昔の思い出を懐かしむ方も多くいらっしゃいました。

6月7日(土) 患者様お誕生会



梅雨入り前の貴重な晴れ間となったこの日、当院にご入院されています患者様のお誕生会を開催いたしました。4階西病棟では男性患者様が、スタッフが「おめでとございます！」とお伝えする度たくさん顔を返してくださり、お祝いのくす玉割りも務めてくださいました。きれいに割れたくす玉に嬉しそうな様子。会場が拍手で包まれました。4階東病棟では女性患者様が、お祝いのデザートプリンを完食。お話されずともご表情や顔色でお祝いのひとときを楽しんでくださっていると感じ、スタッフも温かな気持ちに溢れました。3階中央病棟・3階東病棟合同の会では会場いっぱい患者様やご家族様がご参加。レクワーカーによるお祝いの演奏『ふるさと』をサウンドブロックで演奏しました際は、皆様にも楽器に触れ音を出すことに挑戦いただきました。きれいな音色が響く度「おおー！」と歓声も上がり、大変アットホームな会となりました。3階西病棟では女性患者様お一方の参加となりましたが、音楽のコーナーではその場でリクエストを伺いながらご家族様やスタッフと共に懐かしの曲をお楽しみいただきました。また、当日お誕生会にはご欠席となりました患者様にも、それぞれのお部屋にてお祝いをお伝えしております。この日は病棟スタッフから『ハッピーバースデー』の歌のプレゼントをお送りし、記念写真を撮影させていただきました。

6月10日～内科病棟通常グループレク時間にて 6月の企画レクリエーション『雨』



雨の装飾品は小学校、保育園に通うボランティアの方々からいただきました！

6月は『雨』をテーマに実施いたしました。『雨降りお月さん』を皆様で歌い当時の情景を想像しながら、スタートです。ここからは続々と雨にまつわる楽器のご紹介へ。まずは雨の音がする「レインスティック」です。お一人ずつお手にされご体験いただきました。「きれいね！」「雨に聞こえる！」等のお声の中、会場のあちこちから心地よい雨音が響きました。雨の次は『スプリングドラム』という雷の楽器です。「ゴー」「ゴロゴロ」と筒状の見た目からは想像のつかない音に思わず驚かれる患者様も。続いてはカエルとオタマジャクンを模した電子楽器の「ケロミン」「コケロミン」「オタマトーン」です。「ケロミン」ではコミカルなカエルの鳴き声に思わず吹き出してしまう患者様も。一方本物のようなカエルの鳴き声では昔を思い出され「懐かしい。カエル捕まえました」等お話しもありました。もちろん“楽器”ですから演奏もできます。“一緒に歌いましょう”と「ケロミン」の演奏に合わせて『青い山脈』『知床旅情』を皆様にお歌いいただき、「コケロミン」「オタマトーン」のご紹介では少々調子はずれのかわいい音で『愛燦燦』をお聴きいただきました。音楽の他には雨にまつわるクイズもご紹介。最後は『ここに幸あり』等を歌い“見て・聴いて・触れて・考えて”の雨のお時間が締めくくりとなりました。

6月21日(土) ロビーコンサート 出演: 街のクリニック音楽隊(ピアノ・ベース・歌)



今月のロビーコンサートも感染症対策のため3病棟ずつのご案内で、3階東・3階中央・3階西病棟の患者様にいただきました。この度のご出演は、街のクリニック音楽隊(ピアノ: 萩野仁志様・ベース: 多田文信様・歌: HANA様)の皆様。2023年5月には演奏の録画撮影にもご協力くださっております。プログラム『極楽鳥』『WAKE UP TO THE SUN』『真夜中のドア』では、趣向の凝らされた艶やかなピアノとベースのジャズメロディに、会場がムーディーな雰囲気になりました。HANA様は萩野様のお孫様で、今年小学4年生の女の子。玉川学園のライブハウスでお祖父様と共演しています。MCでは、音楽の授業でリコーダーを練習されていることとお話くださり、患者様方も「懐かしいねえ。」と微笑ましいご表情を浮かべていらっしゃいました。また、優しく澄んだ歌声には多くの方が魅了されたようで、身体を揺らして音楽を楽しまれる方、音の方をじっと見つめる方、お若い頃に行かれたバーを思い出された方等…、普段よりも社交の場へ向かうような、どこかスツと光を帯びた眼差しをされていました。会場にて患者様へインタビューを伺うと、感極まったように「よかった！」「とお話される方もいらっしゃいました。アンコールでは、萩野様のオリジナル曲『大きな樹』に加え、ピアノによるソロ演奏『Just The Way You Are』もご披露くださり、会場が大きな拍手で溢れました。この度、萩野様には飛沫の飛散対策のため、ビニール製の透明な衝立の設置にもご協力をいただきました。それによりHANA様もマスクを外して歌ってくださり、その柔らかな笑顔も拝見でき、とても胸が温まりました。改めて、演奏される方の全てが豊かな『音楽』であることを再認識する素敵なひとときとなりました。

日常のレクリエーション風景

～5・6月中の個別・グループレクリエーションのご紹介～

2・3階内科病棟では、レクワーカーが各病棟のデイルームにてグループレクリエーションを実施しています。また、お一人おひとりへ好きなものや季節の話題等をベッドでもお楽しみいただけますよう、患者様方のお部屋へお伺いし、個別にレクリエーションも実施しております。今回は2025年5月から6月中のレクリエーションにおける、患者様方との活動風景の一部をご紹介します。



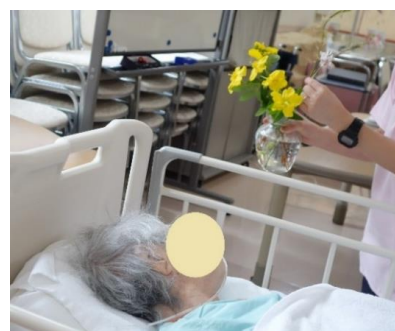
個別レクリエーションでは、折り紙ボランティアの福原春様に寄贈いただいた『錦鯉』と『紫陽花』の折り紙パーツを用いて共同制作を行いました。

好きな紫陽花の色を伺い、レクワーカーもお手伝いしながらお一人一輪ずつ作成。制作の合間には、ご自宅に植えられていた紫陽花や、旅行先でご覧になられた風景、ご家族の方に誕生日のお祝いにプレゼントされとても大切にしていたこと等、思い出をお話くださった方もたくさんいらっしゃいました。完成しました作品は6月2日より当院ロビーに飾らせていただきました。※写真:左

『6月6日の6歳から芸事を始めると上達する』という慣習をご存知でしょうか。グループレクリエーションではその習わしにちなんで『習い事』をテーマに活動を行いました。

寄贈いただいた絵画の雑誌『一枚の繪』から様々な絵画のご紹介では、絵を描くことがご趣味だった女性患者様からは「綺麗ね!」とのお声と共にじっと力強い眼差しで鑑賞されるお姿が印象的。また、今回は雑誌の絵から抜粋し、パリの街並みや湖畔、からぶき屋根の家等を描いた作品をご紹介しますながら、レクワーカーがアコーディオンにてその絵から連想する曲として『スタイルミュゼット』、『湖畔の宿』、『故郷』を演奏。有難くも拍手を頂戴し、沸き起こるように「私、昔はお琴をやってたのよ。」「楽器はやっぱいいね。」「夏は野球、冬はコーラスやってたよ。」など様々なお声も上がり、大変盛り上がりました。※写真:右上(『一枚の繪』は個別レクリエーションでもご紹介いたしました! ※写真:右中)

季節の生花もご紹介し、地域の方にお裾分けいただきましたキンシバイの花には「私も家で植えてたわ。」「生け花をやっていたのよ、私。師範代まで。」と懐かしそうにお話される方もいらっしゃいました。※写真:右下
多くの方がされた様々なご経験の中から、時には私達にも貴重なお話をお聞かせいただくこともあり、大変嬉しく感じております。これからも様々な形で皆様にお好きだったものをご紹介しますよう、企画して参ります。



7月5日(土)・12日(土) 患者様お誕生会



7月のお誕生会のご様子をご紹介します。5日の4階西病棟では皆様がベッドのままご参加いただき、イベント中でも出来る限りご負担を減らせますようご案内いたしました。そのため、午後の心地よい時間もあつてか開始直前までは眠って過ごしていた女性患者様も、会が始まりお祝いのデザートプリンをお出しすると目を開けてくださり「美味しい!」と完食されていました。他の患者様もスタッフとのお話を楽しまれる方や、お祝いのパフォーマンス動画にリズムを取りながら鑑賞される等、ご自身のペースに合わせて楽しまれている様子でした。3階東病棟では、院長よりご出席の皆様のご紹介と挨拶をいたしますと、女性患者様が丁寧にお辞儀で応えてくださり、その気分に溢れたご様子が会場内も華やかになりました。3階西病棟では会場一杯に患者様とご家族様がご参加くださり、音楽のコーナーでは『炭坑節』や『恋のバカンス』の懐かしいメロディーにたくさんの歌声が響くなどとてもアットホームなひとときとなりました。12日の2階東病棟では、普段の病室とは異なる広い空間のデイルームに、お越しになられた時は落ち着かない様子をされていた女性患者様方も、『ハッピーバースデー』の曲を皆様で歌いますと笑顔を増かせられ、記念写真撮影では柔らかなご表情をお見せくださいました。3階中央病棟では、内科病棟にて行っているレクワーカーによるサウンドブロックを用いたお祝いの演奏『故郷』を行った際、今年白寿になられる女性患者様が御家族様と手を取り合い楽器の音を鳴らすことに挑戦くださったお姿が印象的。その他の方からも美しい音色が響く度に拍手が沸き起こりました。

※4階東病棟は8月に7月生まれの方を含め合同開催いたします。

これからの活動予定

7月26日(土)	14:00～	ロビーコンサート ご出演:高瀬慶子・辻喜久栄(フルート・ピアノ)
8月2日(土)・9日(土)	病棟毎に	患者様お誕生会
8月30日(土)	14:00～	敬老のお祝いコンサート ご出演:高井洋子・余田典子(クラリネット・ハープ)
9月6日(土)・13日(土)	病棟毎に	患者様お誕生会
9月27日(土)	14:00～	敬老のお祝いコンサート ご出演:木村りえ・木村りさ(ピアノデュオ)
10月18日(土)	14:00～	ロビーコンサート ご出演:ヴォーカルアンサンブル“丘”(女声合唱)

★お誕生会・各イベント
⇒開始時間・会場等、詳しくは院内掲示を御覧ください。

感染予防対策のため、予定を急遽変更させていただく可能性があります。

ボランティア担当より

今年も七夕の笹を1階ロビー、内科病棟の各デイルーム、4階生活機能回復訓練室、2階リハビリテーション室の7箇所には飾りました。(写真左:3階中央病棟デイルーム、写真右:2階東病棟デイルーム)当院では、毎年地域の方にその日の朝に切ったばかりの生の笹をお届けいただいております。また七夕の飾りも地域の方が寄贈くださり、毎年華やかに彩ることができています。多くの方にとって馴染み深い年中行事であることから、ご年齢やご性別を問わずご覧になられた方々から「綺麗!」と笑顔をお見せいただいたり、「子どもが小さい頃、庭先に飾ったわ。」と懐かしそうにお話くださったりと、ご関心が集まりました。ご家族様もたくさんの飾りをご覧になられ「いいわね。」とおっしゃってくださいました。皆様に季節の移ろいを感じていただけるきっかけをお届けできましたこと、大変嬉しく感じております。今後も多くの方のお力をお借りしながら、私達スタッフだけでは成し得ることのできない豊かなひと時をご案内できましたら幸いです。(山口)

